

岩屋中だより

令和7年4月7日 NO1

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口 猛

令和7年度がスタートしました。本日は、2・3年生で始業式を行い、その始業式後に明日の入学式の準備をして、新たな岩屋中学校のメンバーを迎え入れる用意をいたしました。

始業式では、3年のM君が、2年生のIさんが、決意を発表しました。決意文を紹介します。

3月14日、これまで私達を支え、引っ張ってくださった先輩方が卒業されました。先輩方のいない学校で過ごす中で、今度は自分ちが岩屋中を支える立場なのだという実感を少しずつ順み重ね、今日の始業式を迎えました。

3年生となった私個人の課題は、部活動と学校行事の両立です。私は2年生の三学期から、学校行事の準備のために部活動へ満足に参加できない日が続きました。3年生では、どちらかを怠るということは決してせずに、見通しをもって行動していきます。

もう一つの課題は、高校受験に向けての勉強です。私はこれまで、勉強に関わる苦難とぶつかりながら、身をもってその大切さを学んできました。この経験を無駄にせず、これまでの学習の振り返りやこれからの学習の予習などをしっかりと行い、受勉強に備えていきます。

受験は3年生全員にとっても大きな壁になります。そのために次のことに力を注がねばならないと感じました。基本的なことをしっかりと守ることです。現在私達の学年は、全体的に登校時間が遅く、朝の時間に余裕を持つことができていないときがあります。昨年度は、学校の決まりを軽い気持ちで破ってしまうこともありました。当たり前のことを当たり前にできない状態では、受験に臨むことはできません。この年度始めに凡事徹底を意識して、3年生らしく基本をしっかり守った学校生活にしていきます。

次に先を見通した行動をすることです。受験はまだまだ先だという気持ちで過ごしているとあっという間に当日を迎えてしまいます。自分の目標を定め、

そのために今しなければならないことは何なのかをしっかりと考え、自分から計画的にかつ率先して動かなければなりません。

これからの学校生活で悩んだりつまずいたりすることが同度もあると思います。ですが、協力することを忘れずにみんなで支え合えばどんなことも乗り越えられるはずです。

2年生の皆さん、私達はまだ3年生になったばかりで頼りないところも多いかもしれませんが、楽しい岩屋中学校にするためにせ私達3年生を信じてついてきてください。

3年生の皆さん、私達は1・2年生のお手本であり、岩屋中学校の顔です。最高学年として、自分たちの力でこの一年をより良いものにしていかなければなりません。笑顔で最高の卒業式を迎えられるよう全員で協力し充実した一年にしていきたいと思います。

3年Yくん



さあ、皆さん。ついに新年度が始まりました！新しい学年となり、まだまだ緊張していると思います。

私は生徒会役員でありますので、まず最初に岩屋中学校のスローガンである、七転八起～挑戦し続ける岩屋中学校について話します。七という字には、様々という意味があり、八という字には数多く無限という意味があります。つまり、七転八起とは様々な困難にも負けず、何度でも立ち上がるという意味です。なにかに挑戦するために必要な精神だと思います。

私達は、この1年で、既に様々な挑戦をしたと思います。それは、常に良い結果ばかりではなく、時には心が折れそうになる結果に終わることもあったのではないのでしょうか。そもそも、挑戦しなければ成功や勝利を得られない代わりに失敗や敗北もありせん。しかし、失敗から学び、立ち上がって前に進めたことは貴重な経験となり、いずれ成功につながるでしょう。七転八起は、私達の挑戦を後押しするためのスローガンなのです。今年度も挑戦し続ける姿勢を大切にしていきたいです。

次に、先輩としての心構えについてです。思えば1年前の4月、私達は期待と不安でいっぱいの毎日を送っていました。その頃の先輩方は、私達の目にどのような映っていたのでしょうか。尊敬できて、好感が持ていましたよね？”明日は新1年生が入学します。私達は先輩になります。新2年生のみなさん、制服などの身なりは正しく着用できていますか？時間に余裕を持って行動できていますか？ハイブリット挨拶を心掛けていますか？自分自身を見つめ直し、先輩としての背中を示していきたいでしょう。

私達は、夢や希望を持っていれば多くの可能性と伸び代があるはずです。私は、何事も率先して行動していきます。新2年生のみなさん、成長する機会を逃さず、人として適切な行動をしていき、自分たちの可能性を広げていきましょう。

2年生代表 Iさん

春休みを迎える前に、伝えたことを振り返り、決意をもってこの日を迎えたかを聞きました。決意を、そして、『こうしようという』志を立てることが100%できるものではないことは、私も理解しているので、これからでも遅くないし、今この新しい気持ちの時に、『個人としてこうなりたい、集団としてこうなりたい』というものを設定することが、挑戦につながることを話しました。変わろうという契機を逃さないこと（chance）、変わろうと挑戦すること（challenge）、そして変わっていくこと（change）の3つを大切にするとともに、併せて、大事にしたいことも話しました。このことは、いつも述べていたことで昨年度の通信にも記載しています。

まずは、このような始業式ができたり、新しい仲間と新しい出会いを迎えることができることは、当たり前なことではないことに触れました。『当たり前ではない』＝『有難し』だからこそ『有難し』＝『有難い』ということです。そしてそれは、『有難い』＝『ありがたい』なのです。

また、私たち人間にしか与えられていない『愛』を大切にすることを話しました。新しい自分になろうと努力をすれば、苦難を伴います。そんな時に、そっと寄り添うことができる人間になろうという意味です。苦難で悩むことを『憂』（うれい）と呼びますが、そこに人が寄り添うというのは、『憂』いという字の左に、『人』という漢字を近づけると（人べんを近づけると）『優しい』という字になります。幸せをつかむために、人に寄り添える人間であってほしいと思います。加えて、挑戦し『辛い（つらい）』状況の中で、何か一つでも頑張ることで、状況が変わっていきます。辛いうちに『+』と『一』を加えると『幸』になるのです。生徒会で定めた、『七転八起～挑戦し続ける岩屋中学校』というスローガンは、幸せをみんなで掴むための扉の鍵です。自分たちは、挑戦が『できる』と信じて、自己暗示をかけようとも話したところです。話が難しくなりましたが、1年間の同じようなことを繰り返し話していきます。幸せをつかむために・・・・・・・・

卒業式・修了式・離任式では、つばみだった桜の花も満開になり、桜の枝には新緑の若葉が見えて隠れるようになりました。皆さん、春休みは充電できましたか？

覚悟を

今の自分

期待 >=< 不安

今年度は、◇◇◇するぞ！

新しい自分・学校に変わる (change)
変わる好機を狙う (chance)
変わるために挑戦する (challenge)



不安や期待が入り混じっていたとしても、ここで、新しいスタートをしようとする自分がある。仲間がいる。

これって、当たり前？

有るのは難しい=有難し(ありがたし)
ありがたいこと

ありがとう

進級おめでとうございます。
いよいよ3年生、2年生です。

この春休み期間中に、皆さんにしてほしいことを
修了式で話しましたが……覚えていますか？

ここにいるすべての人が幸せをつかむために

有難し=ありがとう

支えあい=思いやり=優しさ 『愛』

笑顔とありがとうそして『愛』であふれ、
challengeし、changeし、chanceを大切にしたい

どのように変わりたいかを考え、新しい自分・集団の姿を決める。

- ・きめることができた。
- ・完全には決められなかった。
- ・決められなかった

考える

決めたことを実現しようと努力をする。

- ・努力を開始した。
- ・決めただけで開始できていない。
- ・決めてないから、努力は開始していない

行動する

遅くはない。
Chanceはある！

主体的に行動するという、『今』の時代に求められている姿

互いに、幸せをつかもうとするとき (私たちの成長。自己実現)

チームのありかたは、個々人の成長につながる

自分が変わりたいと思えば、それはChanceである。

それは、今日から次年度(令和7年度)の始業式までの2週間

まだ、『1』学期はスタートしちゃいない！まだ間に合う！

それぞれが4月からは違う立場。その覚悟を今こそ！

始業式で使用したスライドです。